政策コメンテーター報告（第2回、意見照会期間：2014年9月24日～10月6日） 高橋 はるみ：北海道知事

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		本道経済は主な指標を見ると、7月の大型小売店販売額が4カ月ぶりに前年を上回るなど緩やかに持ち直しているものの、8月の新車登録台数が5カ月連続で前年を下回るなど一部に弱い動きもみられるほか、業種や企業の規模により賃金上昇が物価に追いついていない状況にある。また地域からは、消費税率引き上げの影響による個人消費意欲の減退、原材料・資材・燃油価格の高騰や電気料金の値上げ等による企業収益圧迫、実質賃金の目減り、人手不足感の強まりなどを訴える声が寄せられており、更に電気料金の再値上げ申請や円安の急激な進行などから企業経営に更なる影響を及ぼす懸念があるなど、総じて景気の先行きに不透明感が増してきている。
1-2	今後の経済のリスク要因（第1回時点と比較して変化がある場合）、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。	－	前回報告したリスク要因に加え、急激な円安の進行により、原材料・資材・燃料などの価格の更なる上昇が懸念されるところであり、その帰趨によっては、一次産業や医療・福祉なども含む事業活動における収益減少・経営圧迫、家計における消費減少などにつながり、本道の地域経済に大きな影響を及ぼす恐れがある。
経済再生と両立する財政健全化			
2	財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。	－	国において、歳入・歳出の両面の改革に取り組み、財政の健全化を図っていくことは大変重要なことであるが、地方歳出については、国の制度に基づく社会保障関係費の増加を地方の給与関係経費や投資的経費などの削減で吸収しているのが実態であり、不可避的に増加する社会保障関係費に加え、地域経済活性化・雇用対策、少子化対策、国土強靱化対策の必要性が高まるなかで、今後は、小規模市町村はもとより地方において、従来のような自主的な歳出削減は困難な状況にあることから、地方の安定的な財政運営に必要な地方税や地方交付税などの一般財源総額が確保されることが重要である。

政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2014年９月24日～10月６日） 高橋 はるみ：北海道知事

質問事項		選択式回答	記述式回答
女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方			
３－１	どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。	－	北海道においては、平成２５年度の女性の就業率が４３．０％（総務省労働力調査（平成２５年平均））と全国に比べ約4ポイント低く、人口減少や少子高齢化が進行し、将来の労働力不足が懸念される中、女性の活躍を促進することは重要な課題であると考えている。 社会保障制度や配偶者手当等のあり方に関する検討は、もっと働きたいあるいは社会で活躍したいと考えている女性が生き生きと働けるなど、意欲ある女性の就業促進につながるよう進めていただきたい。 なお、検討に当たっては、育児や介護など個々の事情により働くことが難しい方々の負担などにも配慮をいただきたい。
３－２	女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項（女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等）について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。	－	女性は、多様なライフサイクルの中で、継続就業を希望しながらも結婚・出産・育児などにより離職することが多く、人口減少社会の進行に伴い、女性の職業キャリアの継続を推進し、女性の労働参加を促進することが一層重要となっている。このため、男女問わず育児・介護休業制度等の取得促進や、多様な働き方に対応した勤務形態の導入などをはじめ、企業における就業環境のハード・ソフト両面からの整備を促すことが必要と考える。 道では、働く女性はもちろんのこと、農林水産業の分野で活躍される女性などを、経済団体や生産者団体、労働団体などオール北海道で支援する気運を醸成するため「北の輝く女性応援会議」を設置することとした。